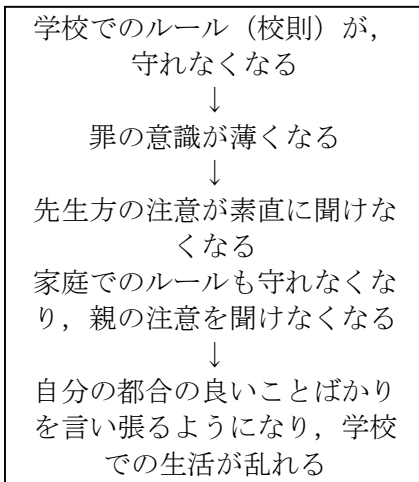


高校生活の基本は、将来自分の進路を実現していくための勉強ですが、社会人として集団生活をしていくための準備や考え方、生活の仕方を学ぶのも、高校での大切な学習の一つです。実社会には、人が安全で安心して生活できるように一定のルール（法律）があります。高校でも、生徒が安心して学べ、高校生活が有意義で思い出のあるものになるよう、ルール（校則）というものを定めています。



学校でのルール（校則）が、守れなくなると罪の意識が薄くなり、先生方の注意が素直に聞けなくなったり、家庭でのルールも守れなくなり、親の注意を聞けなくなり、自分の都合のよいことばかりを言い張るようになり、学校での生活が乱れてきます。学校でのルール（校則）を守ることは、社会で生きていくための準備であり、ルール（校則）を守る意識を高めることは、高校生活の充実につながり、ひいては自分の進路実現の可能性を高めることとなります。

高校では、このような考え方で、生徒指導を行っています。そして、校則に違反した場合には、反省及び指導を行っています。

3年生は、最後の県大会が迫っています。“悔い”なく、“苦意”のある思い出を作ってください。

また、さまざまな検定が、6月から7月にかけて毎週実施されます。検定は努力のバロメーター。しっかりと自己PRできる材料としましょう。1・2年生は、今から検定などを活かした就職や進学をしっかりと調査し、それに向け努力することが大切です。

